

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

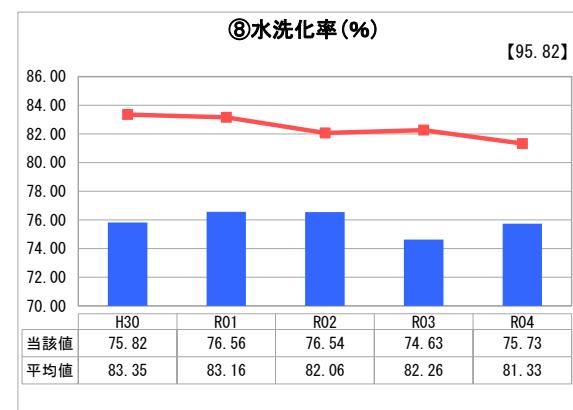
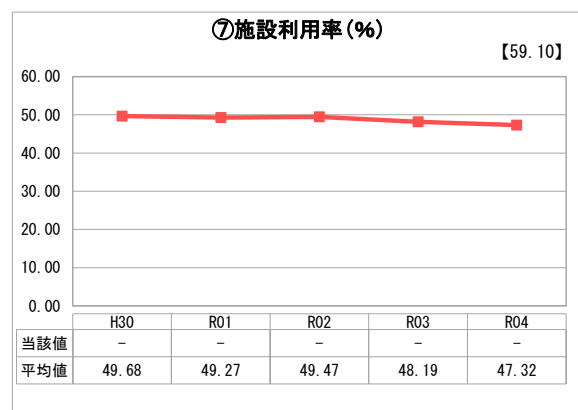
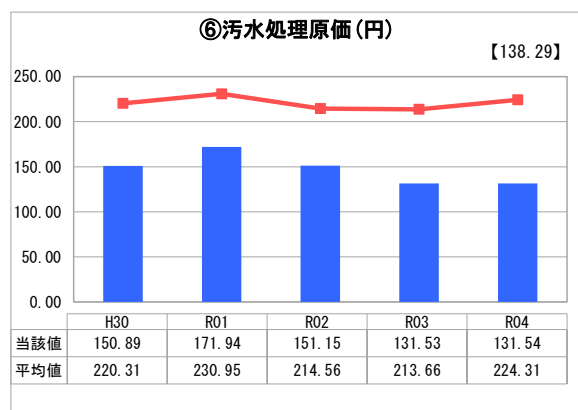
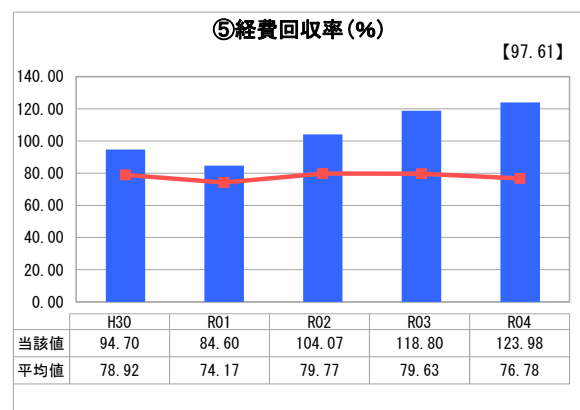
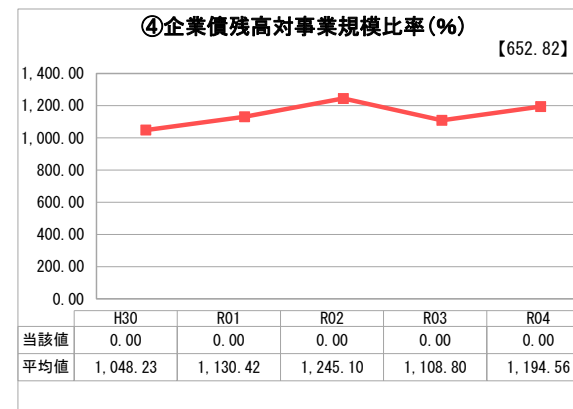
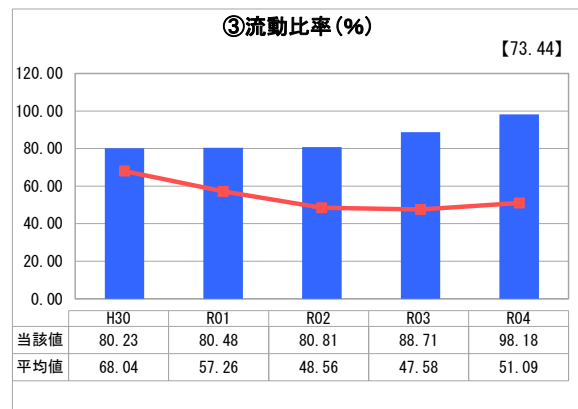
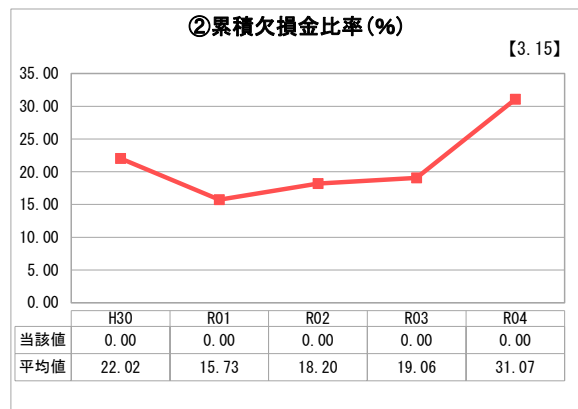
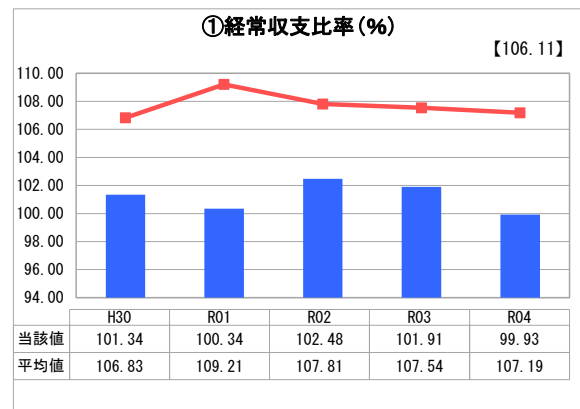
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	54.35	63.65	100.00	3,630

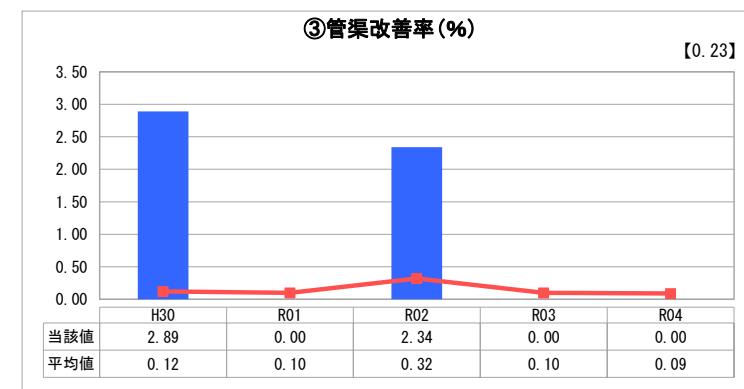
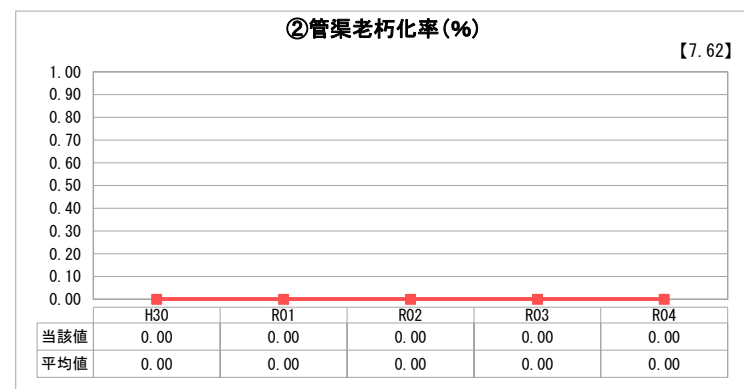
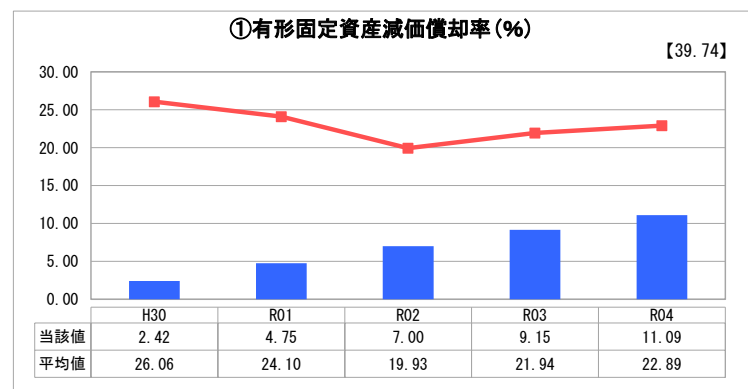
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,468	419.68	29.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,861	4.08	1,926.72

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
おおむね100%で推移している。総収益のうち他会計からの補助金が15.14%占めている。

② 累積欠損金比率  
現在、累積欠損金は発生していないが、マンホールポンプ機器の更新や修繕費用が増加しているため、ストックマネジメント計画を策定し、修繕費用の平準化等、効果的な機器の更新を行なう。

③ 流動比率  
100%に満たないもののわずかに向上した。

④ 企業債残高対事業規模比率  
平成30年度より比率は、0%となっているが、必要な更新を先送りしているためであり、今後においても必要最低限の更新を行い、経営の健全化を図っていく。

⑤ 経費回収率  
令和2年度における使用料の改定や、供用開始区域の拡張により、収入は増加している。また、臨時的な費用がなかったため昨年度と同程度となった。

⑥ 汚水処理原価  
経費回収率と同じく使用料収入が増加した中で、臨時的な費用がなかったため昨年度と同程度となった。

⑦ 施設利用率  
津山浄化センター（津山市）に接続しているため、0%である。

⑧ 水洗化率  
既整備地区の水洗化人口は増加しているが、面整備による新たな整備済地区も増加しているため、前年度並みの推移にとどまっている。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
類似団体平均値と比較して大きく低い理由は、整備が遅いことと処理場がなく、耐用年数の短い電気機械設備が少ないためである。

② 管渠老朽化率  
耐用年数を経過した管渠がないため発生していない。

③ 管渠改善率  
令和4年度は、管渠の更新を行っていない。必要があればその都度更新を行っていく。

### 全体総括

当町の下水道4事業のうち、公共下水道事業は、住宅密集地区であるため、経営は比較的良好である。

今後は、管路の老朽化、マンホールポンプ設備の更新が発生するため、ストックマネジメント計画を策定し、費用の平準化を図り、併せて維持管理に係る経費削減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

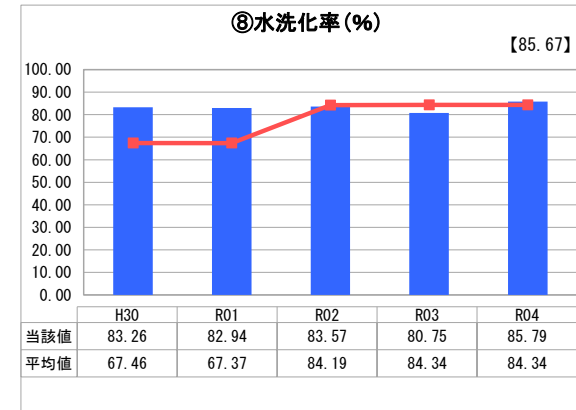
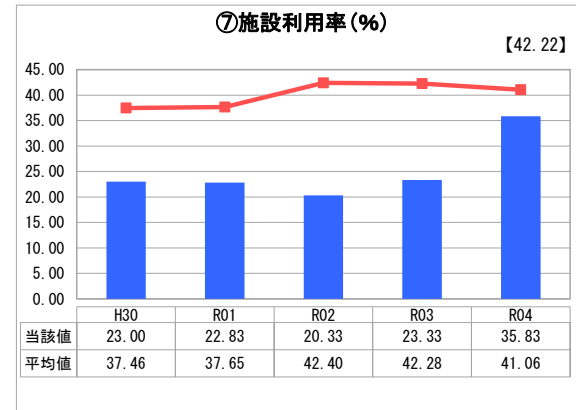
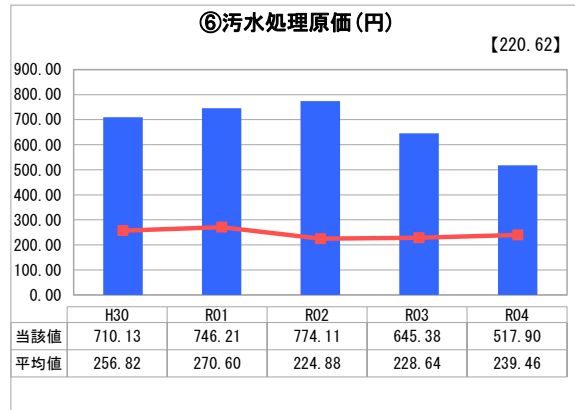
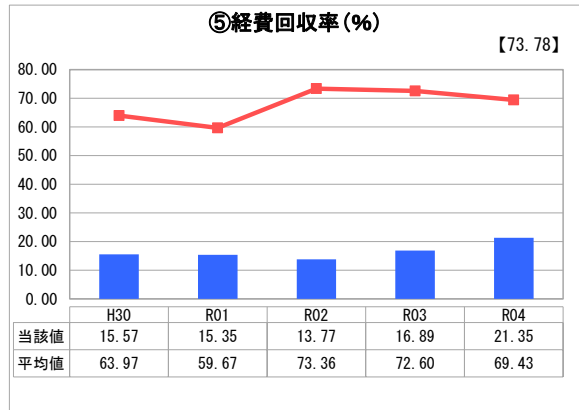
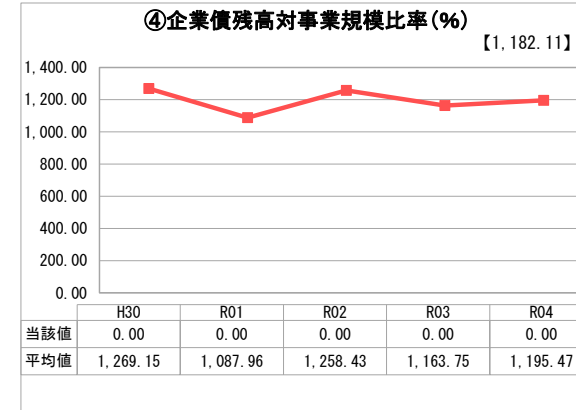
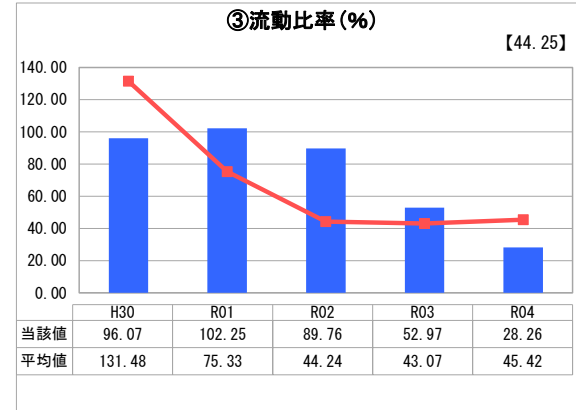
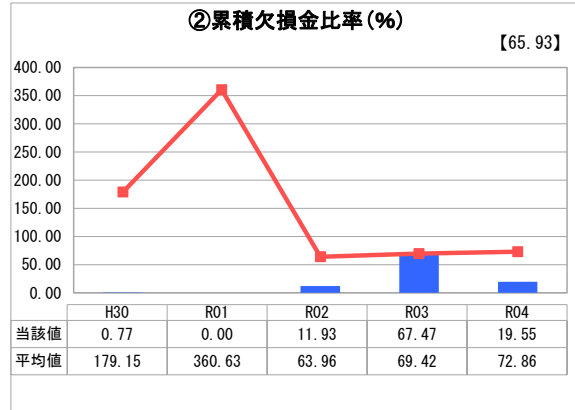
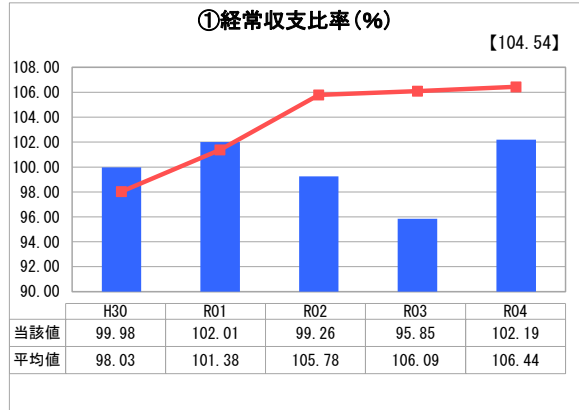
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	73.32	3.02	100.00	3,630

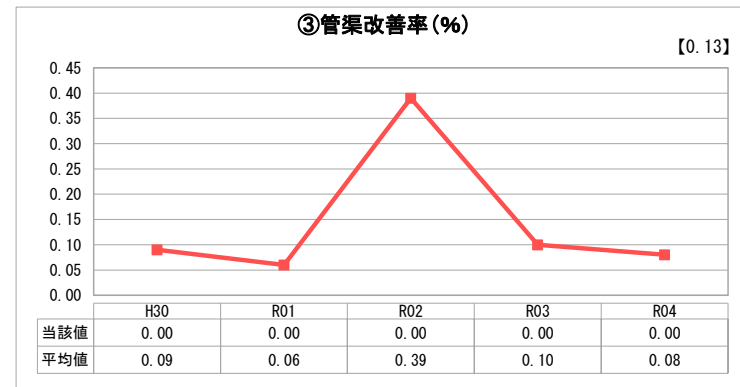
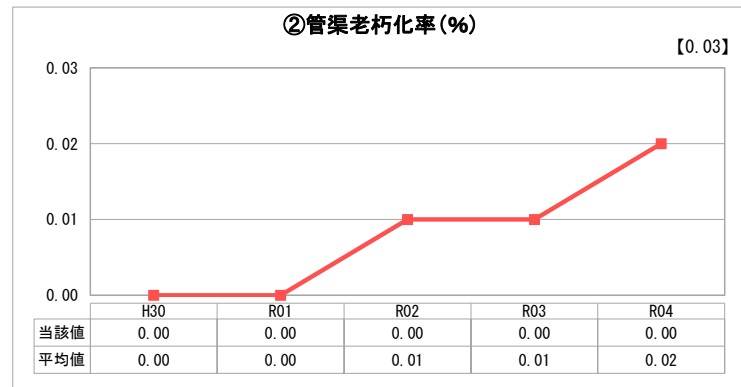
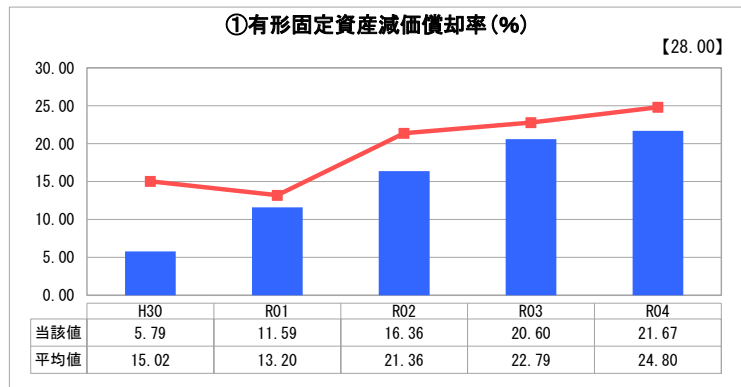
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,468	419.68	29.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
373	0.35	1,065.71

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
新型コロナウイルス感染症対策等による観光施設の利用が回復の兆しを見せ、料金収入が増加し、概ね100%を維持している。なお、総収益のうち、他会計からの補助金が40.85%を占めている。
- ② 累積欠損金比率  
大規模修繕が無かったため、前年度に比べ当年度末処理欠損金が減少し、類似団体平均値と比較しても低く抑えることができた。今後においてもストックマネジメント計画を策定し、修繕費用の平準化等、効率的な機器の更新を行う。
- ③ 流動比率  
近接する農業集落排水処理区を取り込んだことにより建設改良費が発生したため、減少となった。
- ④ 企業債残高対事業規模比率  
平成30年度より比率は、0%となっているが、必要な更新を先送りしているためであり、今後においても必要最低限の更新を行い、経営の健全化を図っていく。
- ⑤ 経費回収率  
令和2年度より上昇傾向にあるが、類似団体平均値よりも大きく差がある。引き続き経営の健全化を図っていく。
- ⑥ 汚水処理原価  
令和2年度より減少傾向にあるが、類似団体平均値より著しく高額になっている。引き続き維持費の効率化等により経営の健全化を図っていく。
- ⑦ 施設利用率  
令和2年度より上昇傾向にあり、類似団体平均値に近づいている。引き続き、処理人口等の動向に注視し、適切に施設規模を維持していく。
- ⑧ 水洗化率  
類似団体平均値に追従しているが引き続き、水洗化の普及に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
類似団体平均値と比べ、わずかに下回っているが、上昇傾向であるため、10年経過を目途に処理施設機器等の更新計画を検討する必要がある。
- ② 管渠老朽化率  
耐用年数を経過した管渠がないため、発生していない。
- ③ 管渠改善率  
整備年が遅く、更新することがないため実績がない。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、特定環境保全公共下水道は、区域内人口が少なく、また、事業計画時にあった観光施設も事業縮小や廃業が続き、経費回収率の向上が困難な状態である。  
令和3年度に隣接する農業集落排水処理区の統合を行い、料金収入の増加を見込んでいるが、それに併せて今後も維持管理等の経費削減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

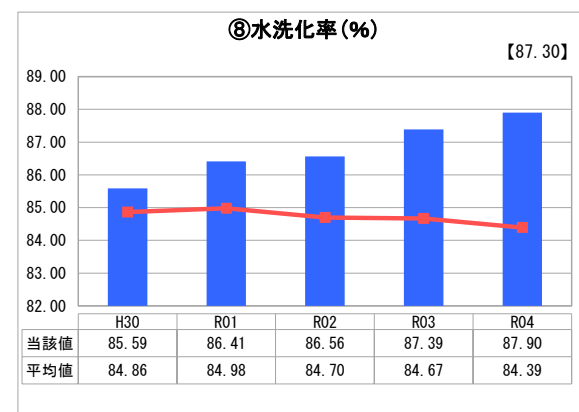
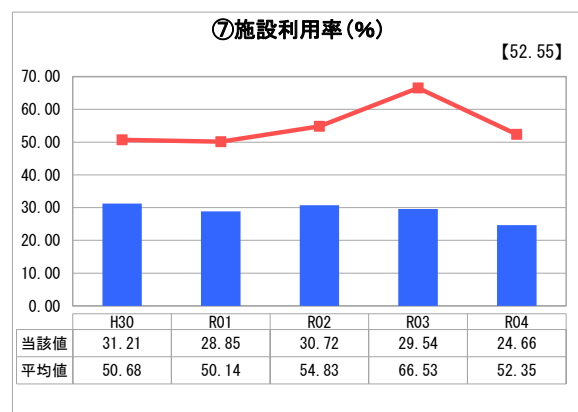
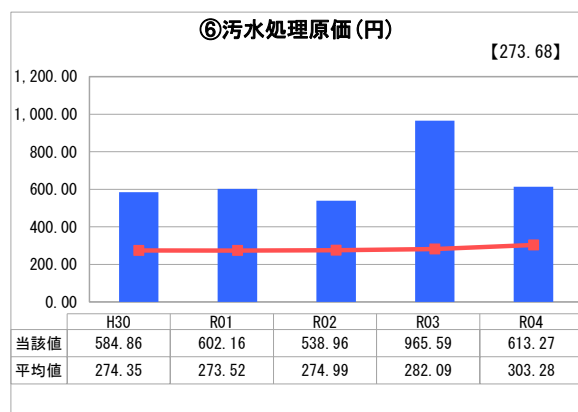
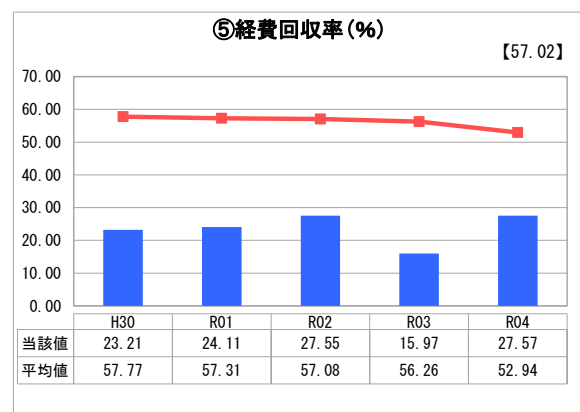
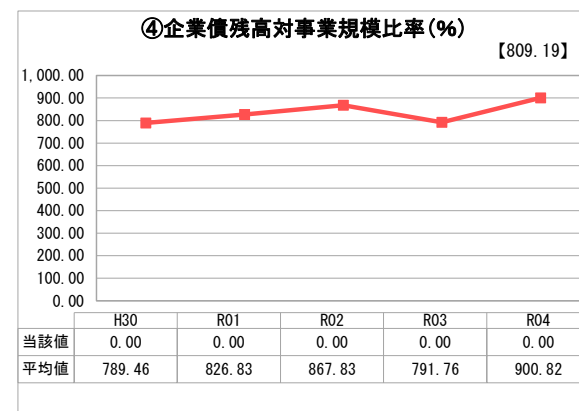
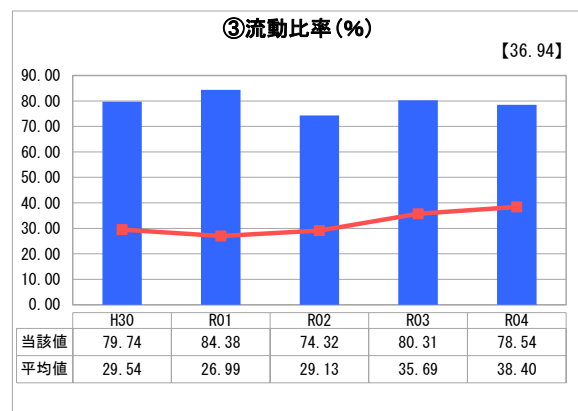
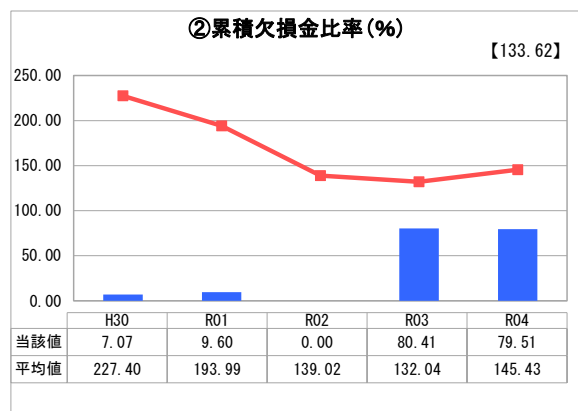
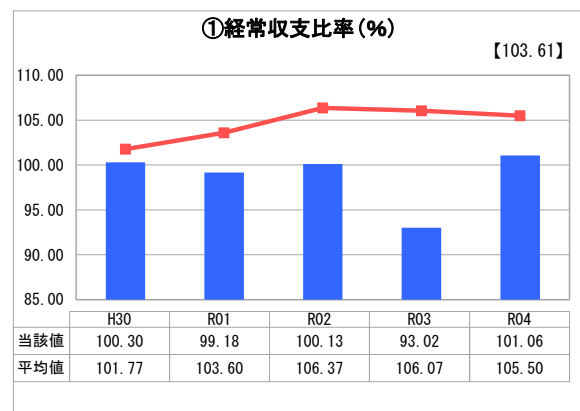
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	66.24	14.39	100.00	3,630

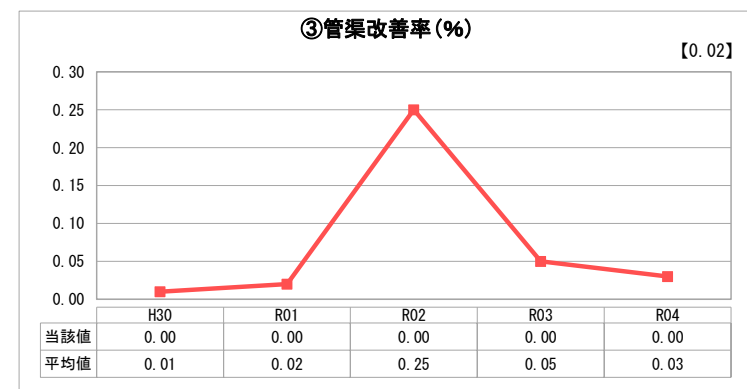
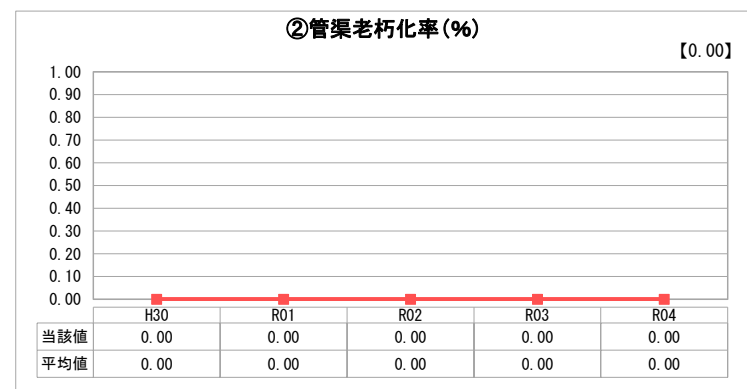
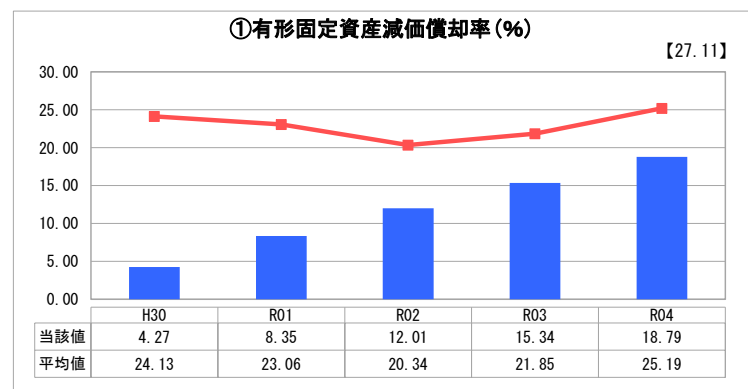
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,468	419.68	29.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,777	0.91	1,952.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
概ね100%で推移している。総収益のうち、他会計からの補助金が38.98%を占めている。
- ② 累積欠損金比率  
昨年度と同様、老朽化等による機器の更新や修繕費用が増加した。今後も増加する見込みである。
- ③ 流動比率  
類似団体平均値よりは高い傾向にあるが、企業債の償還が続く。
- ④ 企業債残高対事業規模比率  
当町の比率は、0%となっているが、必要な更新を先送りしているためであり、今後においても必要最低限の更新を行い、経営の健全化を図っていく。
- ⑤ 経費回収率  
類似団体平均値よりも大きく差がある。引き続き経費の軽減を行う等、経営の健全化を図っていく。
- ⑥ 汚水処理原価  
昨年度は、汚水処理費の高騰により著しく上昇したが、今年度は、平年並みに収まったが、類似団体平均値より著しく高額となっているため、引き続き施設の統廃合等により経営の健全化を図っていく。
- ⑦ 施設利用率  
事業計画時に比べ、人口の減少により、汚水量が減少したため、処理施設の利用率が低下している。近接処理区との統合による稼働率の向上を見込んでいる。
- ⑧ 水洗化率  
類似団体平均値と同水準で比較的高水準となっている。今後についても地区内の水洗化を推進していく。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
類似団体平均値と比べ、低い水準にあるが、同様に増加傾向にある。令和6年度以降に更新事業を行い、改善を図る。
- ② 管渠老朽化率  
耐用年数を経過した管渠が無いため、発生していない。
- ③ 管渠改善率  
整備から年数が経過していないため、更新を行っていない。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、農業集落排水事業は、そのほとんどの事業区域が過疎地域であり、また地形の性質上、マンホールポンプが多く、その維持管理費が増大となっているため、経費回収率の向上が困難な状態である。隣接処理区の統合を進め、維持管理に係るコスト削減に努める。処理施設に関し、令和6年度以降より老朽化設備の更新を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

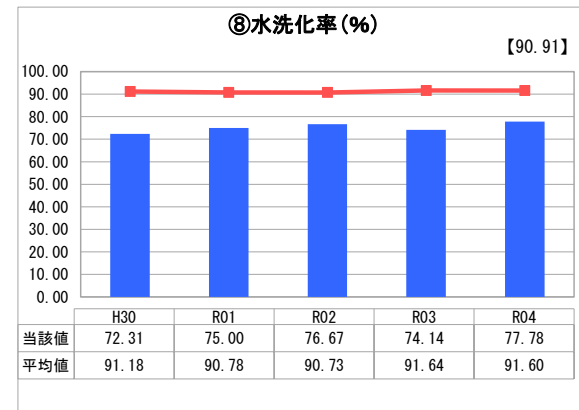
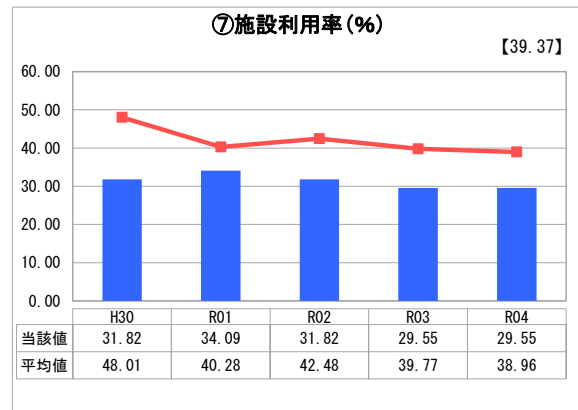
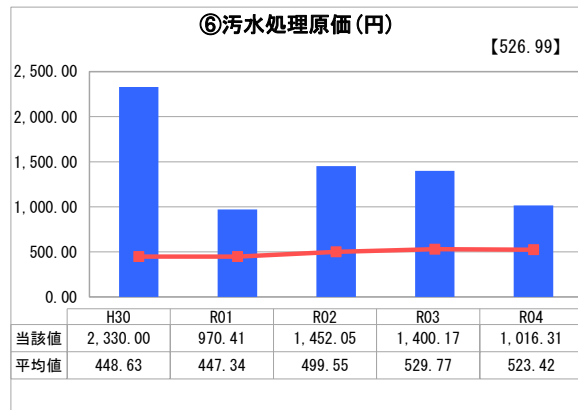
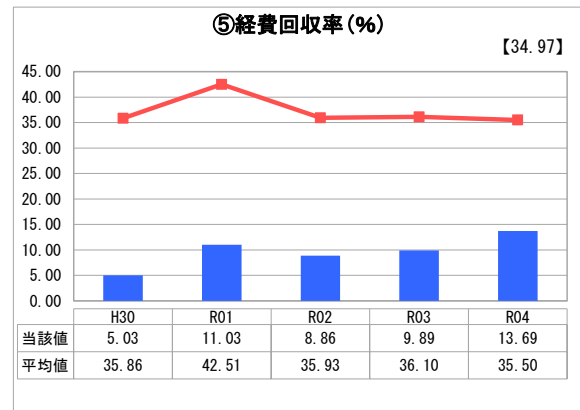
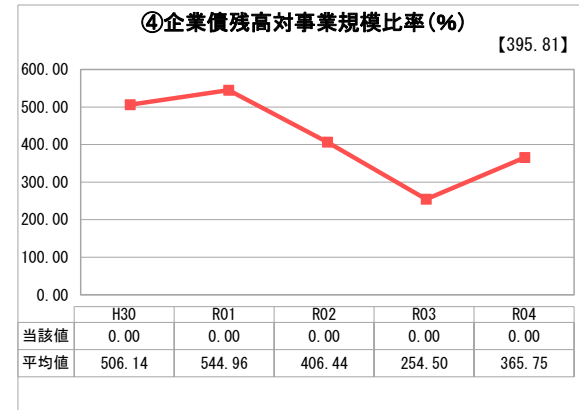
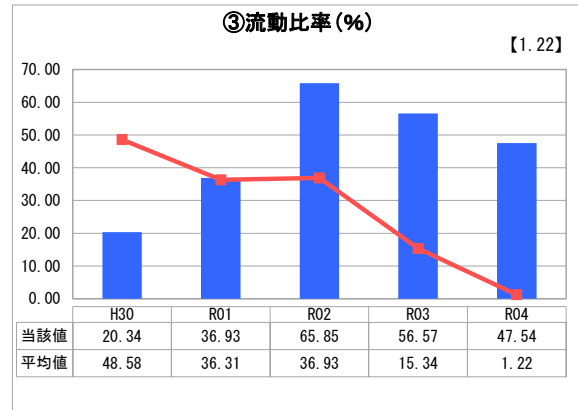
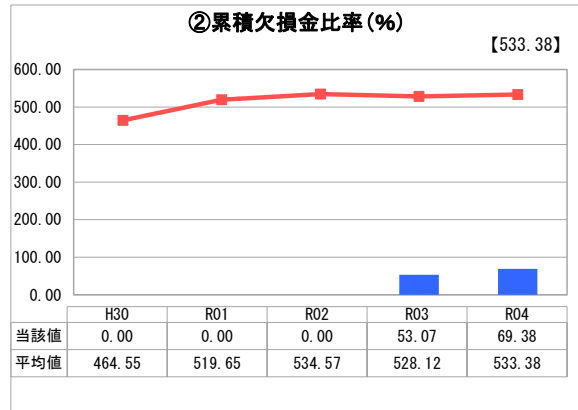
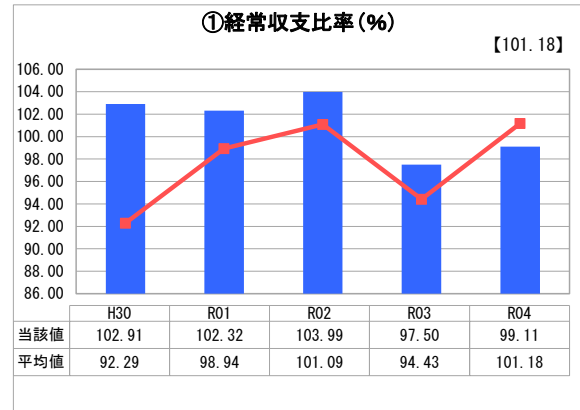
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	78.78	0.44	100.00	3,630

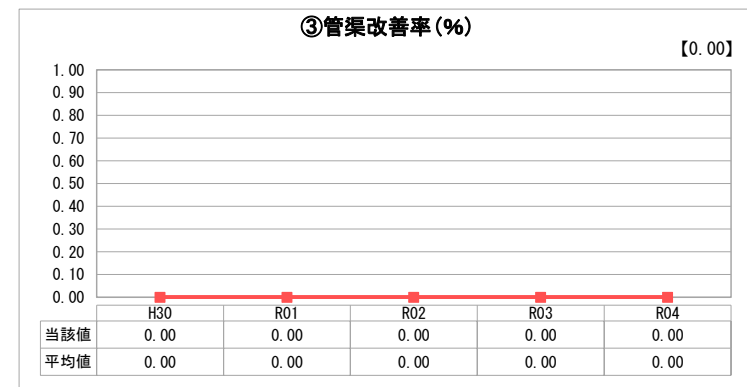
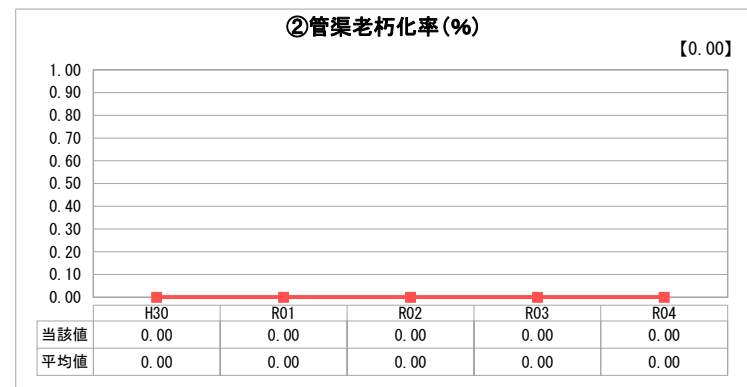
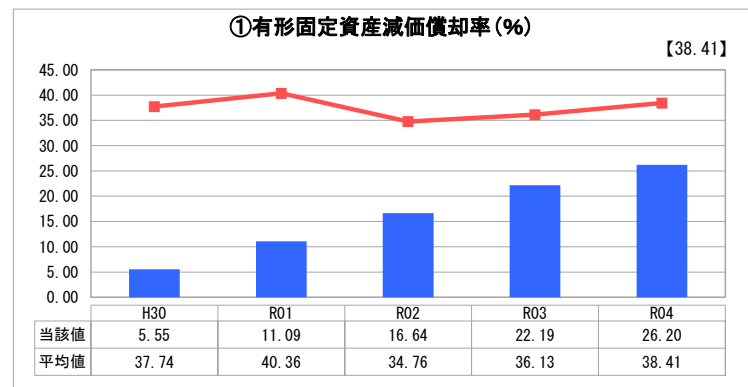
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,468	419.68	29.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54	0.11	490.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
概ね類似団体平均値と同程度で推移している。総収益のうち、他会計からの補助金が40.92%を占めている。
- ② 累積欠損金比率  
昨年度と同様に老朽化等による機器の更新や修繕費用が増加した。今後も増加する見込みである。
- ③ 流動比率  
類似団体平均値よりは高い傾向にあるが、企業債の償還が続き、今後もゆるやかに減少する。
- ④ 企業債残高対事業規模比率  
当町の比率は、0%となっているが、大規模な更新を先送りしているためであり、今後においても必要最低限の更新を行い、経営の健全化を図っていく。
- ⑤ 経費回収率  
類似団体平均値よりも大きく差がある。処理区内の人口の減少による料金収入の減少であり、今後、処理方式の検討を含めて検討していく必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価  
類似団体平均値より著しく高額となっている。機器更新等の維持管理費の発生によるものである。
- ⑦ 施設利用率  
事業計画時に比べ、人口の減少により、汚水量が減少したため、処理施設の利用率が低下している。
- ⑧ 水洗化率  
類似団体平均値と比べ、低水準となっている。今後についても地区内の水洗化の普及に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
類似団体平均値と比較して低い水準にあるものの鏡野町は上昇傾向にあるため、今後の更新計画を策定し、改善をする必要がある。
- ② 管渠老朽化率  
耐用年数を経過した管渠が無いため、発生していない。
- ③ 管渠改善率  
整備から年数が経過していないため、更新を行っていない。

### 全体総括

当町の下水道4事業のうち、林業集落排水事業は、事業区域が過疎地域であり、また地形の性質上、比較的マンホールポンプが多く、その維持管理費が増大となっているため、経費回収率の向上が困難な状態である。処理方法を含めて検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。